

八幡地域における地域コミュニティ交通導入の検討について

1 御調線の概要

資料 2-2 のとおり

2 地域コミュニティ交通導入の検討

㈱中国バスが運行する御調線の利用者は少なく，平成 28 年度の路線全体の経常収支率は 6.9%と低い状況であり，1 便当たり 0～4 人程度の利用者を 29 人乗りの路線バスで運行することは非効率である。

また，中国バスでは運転手の不足や高齢化が深刻であり，県内において路線廃止や減便など再編を実施されており，利用の少ない御調線についても廃止したい意向がある。

更に三原市地域公共交通網形成計画において，経常収支率 20%未満の系統については，廃止もやむを得ないものとしており，系統の廃止により交通空白地区となる地域においては，住民主導の地域コミュニティ交通導入の検討を行うこととしている。

上記の状況から，路線バスに替わる地域組織が運営主体とした地域コミュニティ交通の導入を検討することとし，今後，八幡町内会と地域の実情に即した，地域住民にとってより利用しやすく，利便性の高い運行サービスを検討する。

3 運営主体

地域組織

4 八幡地域住民へのアンケート結果概要

対象者	八幡町の全世帯（357 世帯） 各世帯に 2 枚配付
実施時期	平成 29 年 3 月 7 日～3 月 16 日
質問票 結果概要	資料 2-3 のとおり

5 運行区域（予定）

八幡町から御調町中心部

6 導入の時期

未定（尾道市との協議による）